

2022年度

第2回
自己評価委員会報告書

於：令和5年2月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

自己評価委員会報告書

日 時：令和5年 2月13日（月） 10：30～13：00

場 所：松本理容美容専門学校 会議室

出席者名：(学園) 長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山広報企画部部長

(学校) 松林校長・柏原教務主任

長尾理事長挨拶

今年度はコロナ渦の大変な中、学校としてきちんと対応して頂き、また、自己評価をすることに重点をおくことで今後も引き続き、レベルアップしていき、引き続き、前向きに結果につなげてほしい。マスク着用緩和が政府意向として3月13日より実施となるが、その都度状況をみながら判断して行ってほしい。基本的には、感染対策は継続していき、両校統一した考えで進めてほしい。

【審議検討事項】

1. 2022年度自己点検・自己評価について（資料①参照）

2022年度報告として、7月自己評価委員会において中間報告した項目に加え、全項目の周知すべき点の報告を行った。

(基準1) **総括**： 環境の整備と並行し教育内容の充実を計り、豊富な技術力と人間性豊かな指導者に成長できる。その結果各種資格試験の高合格率や各種コンテストにおいて常に全国上位を位置し続けている。また美容業界で幅広く活躍できる人材を多く輩出している。

- ・生徒満足度向上のため、生徒会中心に企画運営する組織の構築
- ・県内唯一の美容学校として、地元地域の業界全体の発展のため、地元で学び地元で高度な技術を提供できる人材の育成の発展と充実。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにアップセット・ネイル・メイク・ブライダル・カットのうち2課目の選択をして授業を行った。
- ・感染者及び濃厚接触者となり自宅待機である生徒には、履修同等の課題を明確にし、学びを止めることなく履修できた。

(基準2) **総括**： 第8次5か年計画（令和2年～6年）を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機理体制、施設設備の充実を行う。

- ・令和4年3月竣工
- ・採用後も定期的な技術確認や面談を行い、指導内容の充実や意欲向上に務める。
- ・現代に合った教育内容に対応できる人材の確保と育成。
- ・生徒情報管理システムは入学前の生徒募集から卒業後までを管理し、今後の生徒募集にもつながるため、ホームページとの連携も併せて改善が必要である。

(基準3) **総括**: 即戦力になる人材育成のために、カリキュラム内容や各教科の明確な目標達成と、成績評価を行う。本年度も「必修選択科目」の指導体制を充実させて「幅広い教養」「人間力」および「社会人基礎力」などの育成を図る。両校で2学年選択授業にカラーとまつげエクステンションを取り入れた。教育活動において、学びの場を止めることの無いように、一人一人の生徒の状況に対応しながら進めていく。

・ヘアカラー専門店やメンズ特化サロンなど多様化している美容業界と、興味あるものが絞られている生徒が増えているため、一般的な美容技術+特化した技術を取得することで業界の人材ニーズにむけて方向づけられていく。

特化した技術だけでなく、基礎的知識や技術を習得することが必要である。学ぶ習慣のない生徒にとってもやる気が持続できるように指導していく。

- ・来年度に向け、ヘッドスパ講習、体幹を鍛える、美しい姿勢の講習会を実施する。
- ・時代に沿った、カリキュラム内容を検討しつつ、教職員のスキルアップのための講習を行っていく。
- ・指導力向上に向けて必要に応じて研究会を開き、非常勤講師との連絡を密に取り合い、適切に授業を行う。
- ・学校目標の統一見解・現状把握と問題の共有を行う。

(基準4) **総括**: 入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続け、美容の技術者として活躍できる社会人の育成を目指す。

令和4年度主な資格取得

美容科

美容師免許 92名受験 山野流着装(初伝・中伝) 68名取得 山野流着装(奥伝) 18名

Peek-a-boo「カットチューデントコース」47名取得 サービス接客検定 93名受験 70名合格 75%

パーソナルカラー検定モジュール1 96名受験 68名合格 71%

NPO法人日本理美容福祉協会 准福祉理美容師 91名受験 88名合格 97%

INAネイルスペシャリスト技能検定A級 76名受験 100% JNAジェルネイル検定 16名受験 100%

日本エステティック協会 美肌検定 未定

JMA日本メイクメイクアップ協会 2級 55名受験 53名合格 96% 3級 75名受験 75名合格 100%

JHCA日本ヘアカラー協会 ヘアカラリスト検定シングルスター 未定

ビューティビジネス科

日本エステティック協会 AJESTHE 認定上級エステティシャン 16名受験予定

日本エステティック業協会 AEA 上級認定エステティシャン 16名受験 16名合格 100%

JNEC日本ネイリスト試験センター ネイル検定2級 3名全員合格 3級 13名受験 12名合格 92%

JNA日本ネイリスト協会 ジェルネイル検定 中級3名 100% 初級 13名受験 11名合格 85%

日本アロマ環境協会 アロマ検定1級 13名受験 12名合格 92%

- ・1学年退学者1名、休学者1名、通信編入2名、2学年退学者3名、休学者1名
- ・生徒への学習意欲を駆り立て、個々に合わせた指導と、教員の連携を行っている。担任だけでなく、学校全体の問題として取り組み、目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさ育てる教育をしていく。
- ・第14回全国理容美容学生技術大会 まつげエクステンション 優秀賞2名 カット 敢闘賞3名
アップ 敢闘賞2名 WD 敢闘賞1名 デッサン 優秀賞1名
- ・第14回全国理容美容学生技術大会 全国大会 まつげエクステンション4位入賞

(基準5) **総括**: 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

- ・ 高等教育修学支援の指定校となっているため、入学生及び在校生へ周知している。
「給付型修学支援」 対象者 1年生17名 2学年7名
- ・ 長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底している。実務実習、修学旅行は感染対策を十分に行いながら実施できた。
- ・ 欠席が多い、授業に集中できないなどの問題のある生徒は、早めに保護者と連絡を取り合い、改善の方向へ行くよう協力して取り組んでいる。
- ・ HP などを利用して、広く卒業生へ支援していける準備をしていきたい。
- ・ ヘアメイクアーティスト希望の生徒が増えてきたため、3月14日講師によるセミナー開催予定。
同時に、TOKON協力による就職セミナー(30サロン)開催予定。
1サロンでも多くのサロンとの機会を設け、就職活動の意識を高める。
- ・ 新2年生対象の就職活動説明会実施予定。(3/3)

(基準6) **総括**: 新校舎で新学期がスタートし、電子黒板や Wi-Fi などを利用し、より分かりやすい授業を行えるように研究している。

新校舎を美しく維持できるよう、隅々までの清掃を心掛け、おもてなしの心を育んでいく。

- ・ 平等な授業を行うよう調整した。
- ・ 職員によるものと、外部へ依頼するものを選別して行った。
- ・ 多様化する美容技術に対応し、感染対策を含めて計画をもって実施していく。
- ・ 実務実習のサロンと学生の事後アンケートによって実績・教育効果を確認してフィードバックしている。
- ・ 実習室が充実したため、シャンプー技術を学んだあとに、実務実習に行くことができた。
- ・ 昨年度に引き続き、オクレンジャーに登録。感染防止対策の他、防災についての連絡を行っている。
- ・ 全校生徒が避難しやすい校舎であり、避難経路の確認を2回行った。
- ・ 消防計画作成届出書、消防用設備等点検結果報告書を提出。

(基準7) **総括**: 令和5年度の入学生の確保は、コロナ禍も落ち着き、昨年度よりも県外流出が懸念された。しかしながら、説明会において本校の特色となる国家試験合格率、資格試験合格率、就職率は100%を掲げ、地元での伝統校としての強みをアピールしたことにより、昨年度よりは若干減少したが概ね例年通りの学生確保が出来た。長野校新校舎の影響も大きいと感じている。

- ・ 学園HPの充実の一環として、明確な学校の情報を配信するため、インスタグラムを実施している。
- ・ 学園専用のiPadを購入。高校生と直接情報を交換できるLINE@を開始した。
- ・ 在校生の満足度を上げ、卒業生の活躍や、美容業界の魅力を伝えて、学生募集に繋げていく。
- ・ 今年度から生徒会広報係によるインスタグラムの配信を行っており、フォロワー数も増加している。
- ・ 生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する準備開始している。
- ・ 令和5年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・ 今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。その方策として、マイナビ・リクナビ等の進学ネット内容を深めていく取り組みを始めている。また、本学園希望以外の美容系希望者に対して、DMチラシを発送した。(3月上旬)
- ・ 2023年度9月実施予定のビュー・コレ2023の打ち合わせ実施し、具体的な予算化・チラシ制作準備開始している。両校職員に対して打ち合わせ資料準備し、3月23日学園研修時に1回目の打ち合わせを行う。
ビックハット3/13実施予定。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

(基準9) 継続して、問題なく実施できている。

- ・ SNS を上手に使いこなしていくためにも、啓発活動を継続していく。
- ・ 校舎新設の際に Wi-Fi 環境の整備とともに、インターネットセキュリティの強化をしている。
- ・ 重点目標に向かって、課題や解決方法を探りながら問題点の改善に取り組んでいる。年間2回の振り返りの中で、本校の問題点を見つけ、解決するようにしている。

(基準10) **総括**:美容科 社会福祉学を学ぶなかで、理美容介助士の資格取得し、体に障害のあるお客様に対応できる介助技術を学んでいる。どなたへもより良い対応ができるよう『准福祉理美容師』『福祉理美容師』の資格を取得できるカリキュラムとなっている。

ビューティビジネス科 上記同様に地域ボランティアとして学んだ技術を提供する来校実習を行っている。

- ・ ヘアフェスティバルでは、保護者のほかに地域の皆様にもお越しいただき、技術披露を実施することができた。
- ・ 第5地区地域推進に賛同していきたい。
- ・ SDGsに関心のある生徒が増えている。
- ・ オリエンテーションなどで、SDGsや人権についての講習などを行った。
- ・ 生徒会が中心となり、社会問題への関心と、本校でできる取り組みを積極的に行う。生徒とともに、職員が率先して社会問題に関心を持ち、学校として、美容に携わる者として、また長野県民として何ができるのかを模索できるような環境を作っていく。
- ・ 韓国メイクのメイクアップアーティストを講師として招き、韓国についても学んだ。

2. 重点目標について (別紙1・2参照)

○2022年度実施報告

- ① 「教育活動」 自立した一人の人間として強く生きていくための総合的な力
- ② 「教育環境の整備」 生徒育成のための教員としての力をつける
- ③ 「学生募集」 リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善

●生活習慣の基本、専門的な知識

●生徒育成のための教員としての力をつける

●リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善

3月31日時点で2022年度重点目標の実施状況の報告

2023年度も引き続き、重点目標を中心に向上していく努力をしていく。

○2023年度目標課題

【 教育活動 】

●生活習慣の基本

相手の立場に立ち、気持ちよい空間をつくれる気遣いができるように育てる。

「整理整頓」「挨拶」「礼儀」、『当たり前が当たり前でできる人に育てる。』

●学び続ける教職員・教職員の技術力向上

教職員自身が更に美容の知識を深め、技術を高めていく

●社会貢献

社会へ関心を持ち、社会とのつながりの中で美容業の貢献と発展を考えていける基礎を作っていく。

【 教育環境の整備 】

●相談できる職員間・生徒育成のための教員としての力をつける

一人一人がクラス問わず注意深く観察することで、その生徒の特長や様子を踏まえて、相談やアドバイスが自然にできる。様々な生徒がいるため、何が正解か難しいのだから、決して否定せず、生徒の今後のためになることを一緒に考えられる職員間が大事。

●生徒も職員も学校が楽しいと思える雰囲気

【 学生募集 】

●リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善

他校や他業種などの情報収集しつつ、生徒の新しいアイデアや行動力、連携など係活動がスムーズに行えるようフォローしていく。

●在校生、卒業生、業界と共に魅力を発信

少子化に向け学生募集に関しては特別な対策を施していかなければならない。新校舎や協力してくださる卒業生やサロンを最大限に生かし、オープンキャンパスに参加した高校生の満足度を高め、在校生や、卒業生の満足度を高める。HPを活用し、卒業生のブログや訪問時の写真であったり、在校生へ向けてのメッセージなどもオープンにし、在校生・卒業生やサロン様ともネットワークを作ることによって大きな「美容を通じた家族」に成れることを目指したい。

3. 学校関係者委員会の報告（資料2）

- ・選択授業を増やした理由は？→昨年度仮校舎のため、匂い問題があり選択パーマを実施することが出来ず、ブライダル・カットを追加したところ、生徒からの評価が高かったため、両校で相談し決定した。
パーマについては、サロン現場において必要と考え、必修科目にて実施している。
- ・礼儀・挨拶について・・・就職内定先とのインスタやSNSのやり取りについても礼儀を教えておいてほしい。
対面のみでない、マナーも大切である。
- ・人材確保について、卒業後もフォローしている中で、卒業生から先生への流れにしていくことも必要なのでは。
または、サロンとの兼任もあっても良い。
- ・新卒採用の応募はあるのか？
→現状難しい部分がある。
→助手からの採用も検討していても良いのでは。そのためには、キャリア保障も必要である。
- ・人材育成については、難しい部分もあるが引き続き大切に育成をしていきたい。
良い人材がいれば紹介してください。
 - ・指導力向上に向けての研究会は全職員対象とのこと。常に向上し続けている姿勢は素晴らしい。
引き続き、頑張ってもらいたい。
- ・VR授業の導入も必要な時代では。新しい時代に合った授業内容・指導方法を研究し、導入して欲しい。
- ・新しい指導方法を検討し、前向きに導入していきたい。
- ・理美容甲子園への取り組みについて、時代の流れ。生徒の考え方に合わせた指導をして欲しい。
- ・コンテスト・理美容甲子園について、年々生徒の考え方。取り組み方も変化している。無理のないよう在校生満足度に繋がるよう慎重に考えていきたい。
- ・担任制は絶対なのか？→学校法人として、40名に必ず1名の担任がつくよう規定で決まっている。
→生徒と職員の相性もあると思うので、学校全体でサポート体制ができる環境にして欲しい。
- ・ヘアフェスティバル371名もの多くのお客様に来てもらったとのこと。とても素晴らしい。
新校舎での開催イベントの成功が、学生募集に繋がっていくと良い。

- ・清掃について・・・ゲーム感覚や楽しさを見出していく教育が必要では。サロン現場でも、分業化している時代である。
- ・コロナ禍であるため、感染対策・感染予防・消毒まで出来ることを、意識させ清掃までもきちんと行える生徒に育てていきたい。
- ・特色として、先生と生徒が学校の魅力であることは、とても素晴らしい。継続して行ってほしい。
- ・就職について、リクルートはシビアな時代である。新人教育の難しさ。中途採用に力を入れるサロンの増加。今まで以上に競争社会であることを、きちんと認識して就職活動を行わせてほしい。
- ・辞める理由も変化してきている。働き方に対する主張が強い。サロンの現状の厳しさ。ギャップを学校でも伝えて行ってほしい。
- ・学生募集においては、在校生満足度を1番に考え、より良い魅力的な学校。選んで頂ける学校になるよう工夫し、努力していきたい。
- ・就職について、社会人として働く事。覚悟。現場の実情。マナー等を、事例を挙げながらきちんと生徒に理解させていき、社会人としての心構えを構築していきたい。

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

4. 教育課程編成委員会の報告（資料3）

- ・新入社員の指導が年々難しくなっている。学校も職員の指導が難しいと思う。繊細な人が多い。新入社員に気を付けていかなければいけないと感じることは、強めな言葉はいけない。丁寧な言葉遣いで伝える。初めはお客様のようには接していかないとだめ。早川さんのご指摘の通り、在学中に知識として美容の仕事は楽しく輝かしいことばかりではないと伝えて頂くと、ギャップに悩まないのではないだろうか。また、コロナ禍で大会も中止になっていたが、今年は理美容甲子園地区大会が行われ、長野校ではしっかりと成果を出せている。感染対策をしながらの練習時間の確保など難しい面がたくさんあったと思う。それまでのノウハウが先生方や先輩たちに受け継がれ、コロナ禍で育った生徒にもしっかりと伝えて頂いたのだと思う。この学校へは美容師になりたくて来ている。コンテストへの取り組みも、美容師の楽しさややりがいの一つにつながっていくと思う。
- ・選択授業がより充実してきて、生徒にとって楽しくやりがいのある授業が増えていくことは、とても良いことだと思う。魅力的な選択授業を2つしか選べないのは、かなり厳しいのではないかな。何とかもう少し学べる内容が増えるといいと思う。また、コンテストでは輝かしい成果を達成することができて、生徒の努力、講師のご指導、先生方のご指導、友達や家族の支えそれに対する感謝の思い。全て適切に行われているからこそなされたものだと思う。生徒たちの親世代は、共働きが多く、親たちは仕事と育児の両立をしてきた。従来のような子育ては難しく、省けることは省いていかないと生活していけない。今は多様化の時代で、それぞれの人の考えがあり、どれも間違えではない分、どこを省くかが本当に難しい。学校としてもこれだけ多様化に対応していこうとしているからこそ、省けることは省いていかないと、益々運営が難しくなると思う。学校としての方向性だけは外さないで、省いていく勇氣も必要。

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回 自己評価委員会

日 程：令和5年7月24日（月） 10時30分より 場 所：松本理容美容専門学校 会議室